僕も屋久島を守りたい

吉原　蒼

僕は、親が小学校の先生なので、何度も転校をしています。そこで、屋久島に転校し、レクリエーションの森に行きました。そのレクリエーションの森に行った時に感じたことについて書こうと思います。

まず一つ目は、千尋の滝です。千尋の滝は、原、麦生にあり、落差が約六十メートルとても高いので水しぶきが遠くまで飛んでいてもきれいです。僕は見ていて、最初に出た言葉は「大きい。」という言葉でした。遠くから見ていても存在感がある滝で、今考えるとすべて評価が星四以上なので、九州の観光スポットの中にも載っている場所です。

二つ目は、大川の滝です。大川の滝は栗生の西部林道の手前にあり、落差は約八十八メートルで近くまで行くことができるので水しぶきを浴びられます。暑い日に浴びに行くと

20 × 20

冷たくて、とても気持ちがいいです。

三つ目は、白谷雲水峡です。僕は、三回登ったことがあります。僕は、山に登るまで、「本当に空気においしさがあるの。」と思っていました。実際に山に登ってみて、「空気がおいしいというのはこういうことだったんだ。」と実感し、他にも、見たことのない花を見たびに母と「きれいだね。」と言い、見たことのない虫を見るたびに友達と「すごいね。」といって、楽しんでいたことを覚えています。僕が感じた魅力の他にも、所々には、くぐり杉、三本槍杉というなどの川、二千二十四年の九月三日に台風十号の影響で折れた弥生杉などいろいろな有名な場所があります。ですが、これ以上に有名なところがあります。それは、もののけ姫の舞台となった場所が白谷雲水峡です。宮崎駿監督の思いとして、自然と人間の共存などの思いが込められています。

このような場所に行ってみて分かったこと

20 × 20

は、すべての場所にあまりゴミが落ちていないということです。この自然が守られている理由は、みんながゴミのポイ捨てをしていない、「屋久島レクリエーションの森保護管理協会」の方々が守ってくださっているからだと思いました。僕もゴミを見つけたら拾って、少しでも環境を守る手伝いが出来たらいいです。

20 × 20